



業界全体の魅力向上が鍵に

地域建設企業の人材をどう育てるか。7日に開かれた建設ト
ップランナー倶楽部の研修会では、リクルートやメディア関係者、
国土省の幹部を招き、地域実情を踏まえ活発に意見を交わした。
(3面に記事)

地域建設業の
材
人

「どう育てるか」を議論

リクルート、メディアの見方学ぶ

■1面関連■都内で7日に開かれた建設ト
ップランナー倶楽部(米田雅
子代表幹事)の幹事会総
会の研修会では、「地域建
設業の人材をどう育てる
か」をテーマに議論が交
わされた。リクルートや
メディアの立場からの見
方、事例発表のほか、全
国各プロックの概況が報
告された。議論には、国
土交通省から大臣官房技
術調査課の高村裕平建設
システム管理室長、久保
宜之建設システム管理室
事業評価係管理官、土
地・建設産業局建設市場
整備課の江口大暁建設市
場整備推進官、山村晋太
郎課長補佐、総合整備局
公共事業企画調整課の福
島眞司環境・リサイクル
企画室長らが加わった。
リクルートキャリアの
狩野美鈴キャリアカウンセ
ラーと秋山智美リクル

ーディングアドバイザー
からは、「アピールの仕方
によっては中小企業への
応募はある」「ポテンシ
ヤルのある若手を企業内
で育成するという風土が
必要」「独自のブランディ
ング力で差が付く」「業
界全体で魅力向上に取り
組みべき」など、リクル
ートの立場から地域建設
業の人材確保の留意点に
ついて提案があった。

日経BP社の野中賢日
経コンストラクション編
集長は、「地域建設業の
強みを誰に、どのような方
法でアピールするかを明
確にすることが重要であ
る」と指摘した。その上
で、「地域建設企業の最
大の強みは『その地域に
いること』であり、定常
的な維持管理業務や自然
災害への対応をこなしな
がら、地元住民や教育

機関、企業と連携し研究
開発や人材育成ができる
ことがコアコンピタンス
(核となる能力)である」
と強調した。

事例発表では砂子組
(北海道)の砂子邦弘社
長が、自社で取り組む人
材育成方法を披露。「企
業が変わるには個が変わ
らなければいけない」
とした上で、「クリティ
カルチェーンプロジェクト
マネジメントというツ
ールを使い人のマインド
を変える。マインドが変
われば働き方が変わる。
働き方が変われば人材が
育つ」と、人材を育てる
場を提供することが
自身の役割と語った。

この後、北海道、宮城
県、静岡県、岐阜県、神

奈川県、愛知県など全国
各プロックにおける人や
資材の需給動向について
報告があり意見交換が
行われた。各プロックか
らは「高校生の進路の決
定権を持つ保護者の理解
が得られる取り組みや学
校の指導性が必要」「民
間で育てた若手技術者を
行政が引き抜くケース
もある」「資材や人手は
不足傾向であり、労務費
た。

各プロックが 需給動向報告